

「平成27年度温泉利用施設における硫化水素中毒事故防止策検討委託業務」に係るアンケート結果
 Q-1,Q-8,及びQ-9に回答のないもの(該当する源泉なしと回答のあったもの)を集計していない

参考資料2

県(中核市)名	Q-1 温泉水1キログラム中に総硫黄を2ミリグラム以上含有する源泉数		Q-2 温泉水1キログラム中に総硫黄を2ミリグラム以上含有する温泉を利用している浴槽数		Q-3 温泉水1キログラム中に総硫黄を2ミリグラム以上含有する温泉を利用している施設数	Q-4 浴槽内の空気中の硫化水素濃度の測定が必要と認められた事例	Q-5 Q-4の具体的な温泉地名	Q-6 設備構造の不備を指摘した事例(詳細は欄外に記載)	Q-7 硫化水素が原因(または疑われる)事故事例	Q-8 硫化水素以外のガスが原因(または疑われる)事故事例
	硫化水素泉	硫黄泉	室内風呂	露天風呂						
北海道	95(内訳不明)				97				・北海道(平成26年浴槽で1名重体(疑い))	
青森県	15	4	53	8						
岩手県	57	0			57	※日常的な調査は実施していない	花巻市:台温泉 北上市:夏油温泉			
宮城県	19	76	129	30				Q-6-1 2件 Q-6-10 2件		
秋田県	27	10	139	45			・泥湯温泉 1・仙北市(乳頭温泉郷近くの源泉)	Q-6-10 49件	・仙北市(乳頭温泉郷付近(平成27年、労働災害(配管管理中)死者3名) ・湯沢市(泥湯温泉(平成12年旅館客室等で21名が目の異常を訴える、平成17年旅館そば駐車場の雪洞への落下で4名死亡))	
山形県	43	26	322	108				Q-6-8 1件		
福島県	20	6	98	77			高湯温泉、中ノ沢沼尻温泉・西山温泉・裏磐梯温泉	Q-6-1 11件 Q-6-9 1件 Q-6-10 2件		
茨城県	5	5			5					
栃木県	61	26			196					
群馬県	36	21			239		万座温泉 草津温泉	全ての事例で複数回答 Q-6-10 1件		
埼玉県	0	7	16	8						
千葉県	0	11	52	18						
東京都	0	4	22	2						
神奈川県	4	2			40				湯ノ花沢(昭和26年浴槽内2名死亡、昭和27年浴槽1名死亡)。大涌谷(工事作業中)昭和47年2名死亡1名重症)	
山梨県	1	20	57	20				Q-6-3 1件		
岐阜県	13	27	52	22						
広島県	1	0	1	0						
鹿児島県	10	35	2		63					
大分県	正:5 13	正:15 32			67		1 由布市:塚原温泉		別府市(平成26年、労働災害(貯湯槽)中毒により搬送(意識不明、その後回復) 雲仙温泉(労働災害 平成25年タンク清掃中死者2名)	竹田市(CO2疑い:浴槽死者1名発生年等詳細不明)
長崎県	2	6	18	13						
沖縄県	1	0	2	0						
石川県	0	2	0	0						
函館市	1	3	9	2						
郡山市	1	3	0	1						
富山市	2	2	20	10						
長野市	7	0	30	5						
小樽市	0	1	2	0				Q-6-3 1件		
神戸市	0	2	0	0						
横須賀市	0	1	2	0						
宮崎市	1	0	2	0						
和歌山県	2	32			84		2 白浜町:白浜温泉 湯浅町:山田温泉	Q-6-3 2件 Q-6-9 1件		
秋田市	1	0	0	0						
盛岡市	0	6			17			Q-6-3 8件 Q-6-7 2件 Q-6-9 1件		
久留米市	0	1	0	6						
京都府	2	4			5					
福井県	2	1	9	7						
兵庫県	0	3	0	0						
鹿児島市	1	0	0	2			1 平川動物公園足湯2か所			
高松市	2	1			1					
仙台市	1	0	2	3			1 秋保温泉			
下関市	0	6	19	8						
札幌市	4	0	9	5				Q-6-3 9件 Q-6-8 4件		
岡山県	1	2	0	0						
香川県	4	0	2	0						
青森市	5	1	12	4						
静岡県	0	8			39					
新潟市	0	5	40	32			1 岩室温泉			
山口県	0	16	41	18						
富山県	5	1	26	11						
宇都宮市	1	0	2	2			1 市内施設1年1回の測定			
三重県	0	1	0	10						
長野県	40	185			534			Q-6-3 23件	乗鞍高原温泉((労働災害、源泉管理中)平成18年1名重体)	
大阪府	1	2	16	6						
浜松市	0	1			3					
愛媛県	5	0	7	0						
福岡市	0	1	35	0						
松山市	0	6	6	19						
奈良県	1	3	27	11						
新潟県	7	46	148	74	4		1 咲花温泉	Q-6-1 13件 Q-6-3 6件 Q-6-8 1件 Q-6-9 3件 Q-6-10 5件		
島根県	3	0	0	0						
高知県	0	18			17					
いわき市	1	5			61					
熊本市	7	0	16	10						
徳島県	0	11	21	20						
熊本県	1	29	86	62						
福岡県	0	4	18	0				Q-6-3 1件		
宮崎県	1	1			2					
集計	438	732	1570	679	1532	13				

Q-6 設備構造の不備を指摘した事例の詳細

Q-6-1 浴室内硫化水素濃度を改善した事例

Q-6-2 換気孔を設けたにも関わらず、浴室内の空気中の硫化水素濃度が基準を超えてしまうため、曝気装置を設ける指導した事例

Q-6-3 換気構造について、換気孔の位置及び数について改善を指導した事例

Q-6-4 浴室に隣接する脱衣室等において硫化水素が滞留しないように改善を指導した事例

Q-6-5 積雪により換気孔等の適切な稼働が妨げられないよう改善を指導した事例

Q-6-6 周囲の地形、積雪等により硫化水素が滞留するおそれがある露天風呂を使用している場合について、運営方法等改善を指導した事例

Q-6-7 浴槽湯面を浴室床面より高くするように改善を指導した事例

Q-6-8 浴槽に湯を入れる注入口を浴槽湯面より上部にするよう改善を指導した事例

Q-6-9 源泉における揚湯設備、湯畑その他の曝気装置、パイプラインの排気装置、中継槽、貯湯槽等の管理者に対し立入禁止欄、施錠設備、注意事項を明示した立札等を設けることや既存の設置物について改善を指導した事例

Q-6-10 Q-6-1~Q-6-9の質問事項以外で改善を指導した事例

源泉数: 438+732+95(北海道) = 1265
 施設数: 1570+679+1532×2 = 5313



長崎県修正後 源泉数: 441+741+95(北海道) = 1277、硫化水素型: 441

※1570と679は男風呂、女風呂、混浴を併せた数
 ※1532は施設数であり、男女別風呂の内訳が不明なため、推計値として2倍(男風呂、女風呂)とした